

平成 30 年第 415 回信濃町議会定例会 12 月会議会議録(3 日目)

(平成 30 年 9 月 7 日 午前 9 時 45 分)

●議長 (小林幸雄) おはようございます。ご苦労様でございます。ただ今の出席議員は 11 名であります。定足数に達しておりますので、本日の会議を開きます。本日の議事日程は、お手元に配布のとおりであります。

日程第 1、通告による一般質問を行います。

なお、本日の一般質問は、都合により、石川広之議員と佐藤武雄議員の順番を入れ替えて行います。また、青柳議員から、午後 1 時からの欠席届が提出されております。

通告の 6、片野良之議員。

1 横川町政 2 期目への展望について

議席番号 2 番・片野良之議員。

◆ 2 番 (片野良之) 議席番号 2 番・片野良之です。通告書にしたがって、2 期目となる横川町長のこれからの 4 年間の町政への取り組みについて、質問をいたします。

前回の 9 月会議でも同僚議員から、様々な質問がありました。なかなか明確な答弁が行われなかったように感じております。2 期目の町政を担うにあたって、これまで明確にされなかった諸問題につきまして、これまでよりも、もっと明確な答弁を願いたいと思います。

まず、前回の 9 月会議で、小中学校や保育園のエアコンの設置問題につきまして、教育長より、まず各保育園の未満児クラスから導入していきたい旨の答弁を得ています。また、町長も教育委員会の思いを認識し、しっかり受け止め、対応をしていきたいと答弁をされています。今期、この 30 年度の補正予算に組み込まれていることを期待していたのですが、どうやらそれに該当する予算が見受けられず、残念でした。県内の新聞報道で、北信の自治体でも、すでに補正を組んだり、来年度での実現に向けた取り組みを表明している所が見受けられています。なぜ、今回の補正の方に、これが盛り込まれなかったのか、また、来年度の予算を今、検討されていると思いますが、この問題に対する予算付けなどを指示されているのかどうか、町長、お答えください。

●議長 (小林幸雄) 横川町長。

■町長 (横川正知) おはようございます。片野議員さんからのご質問でございますが、お答えをさせていただきます。先般の議会でも、明確にしなかったじゃないかということでございます。これはやはりひとつは、多くは財源の問題もあるわけでございます。そんなことを踏まえる中で、なかなか踏み込んだ答弁ができなかったということも、事

実でございます。そういう中でまず、今、学校だとか保育園のエアコン設置の問題等に触れられたわけでございます。これは今、ご案内のように、国も今年の夏の猛暑を受けて、国も財源的な手立てをしたわけでございます。この信濃町におきましては、教育委員会とも協議を進める中で、当面この今年度予算の中で、小中学校のラーニングセンター、いわゆる図書室を中心とした、その機能のある部屋でございますが、ここについて、当初予算の中でも計画を、計画というのはつまり、エアコンの設置ということですが、予定をしておいたわけでございます。ところが、一時、国の方に補助金を申請したわけでございますが、不採択になってしまったという経過がございます。それで、今の国の動きも含めて、今回改めて要望を申し上げたところ、小中学校のラーニングセンターについては、国の方の補助事業としての採択になったということでございますので、これは、今年度事業として、整備を進めていくということでございます。それから、保育園関係でございます。私は、小中学校も今年は、大変暑かったということでございますけれども、むしろ教育委員会で、前回も答弁をされているように、小さな体で、まだしっかり体力的に形成されていない、そういう保育所の方が優先すべきじゃないかという考えを持っております。特に、未満児だとか、そういうところの年齢層を預かる保育室を優先に取り組む必要があるかなというふうに思っております。これは、可能なら、財源をしっかりと確保しながら、優先順位をつけながら、保育所の方の関係については、進めてまいりたいなというふうに思っています。もうひとつは、保育室のみならず、教育委員会からお聞きしますと、給食室が非常に暑い状況で作業をするというようなことでございますので、順次その辺から、整備をしていこうかなと。これは今の義務教育学校と言いますか、いわゆる、町で言えば、小中学校は国の方の手立てが、財源手立ても補助としてなされたわけですが、保育所関係については、まだまだ未整備な分が、国の方としてもあるかなと、私は思っていますが、いずれにしても、優先順位を踏まえながら、新年度予算の中で、できるところから手をつけていきたいというふうに思っています。

●議長（小林幸雄） 片野議員。

◆2番（片野良之） 今の町長からの答弁で、小中学校のラーニングセンターに関しては、国に不採択されたものが採択に変わって、これからやっていくというお話しもいただきましたし、給食室から、優先順位を考えながらやっていきたいという答弁をいただきました。保育園の方もなるべく、来年度の予算の中で、未満児クラスからでもやっていけるように、優先順位をしっかりと見ていただきながら、限りがある町の財源ですので、何もかも一気に全部やっしまえとは、私も求めてはおりません。本当にやれるところからでかまわないのですが、やはり国の、そしてこの信濃町の大事な宝である子供たちの健康と命に直結する部分ですので、これまで以上に話を進めていただきたいと思います。予想よりも良い答弁がいただけたので、次に用意していたものがもう終わってしまいましたので、次の話に進みたいと思います。

町の公共交通について、9月会議での和田副町長の答弁で、デマンドの対応がヘルパ

平成 30 年第 415 回信濃町議会定例会 12 月会議会議録(3 日目)

一さんの協力ですとか、聴覚に支障がある高齢の方にも使いやすいようにと、ファックスの貸出しなども始めたとか、今までより本当に進んだ対応を行うなど、すばらしい進歩が伺えて、本当にありがたいと感謝しております。ですが、ふれあい広場へのコースの問題ですとか、例えば、黒姫駅の階段通路、これが、足腰が弱いために使えないということで、黒姫駅で乗り降りができればいいけれど、古間駅で降りて、自宅まで帰られるという方から、何とか古間駅から自宅、もしくは、せめて黒姫駅までのデマンドの利用ができないかという話が、私の所へもきております。このようなルートの設定の問題などは、本当に車の台数、方向的なもの、コース的なものがあるって、簡単にいかないとは思いますが、まだまだ対応が道半ばというふうに感じております。このような部分に関しまして、協議会の方でも検討、研究されるというふうに答弁をいただいておりますが、あれからそういったところを、どういうふうに進んできているのか、途中経過でもかまいませんので、担当の副町長にお伺いしたいと思います。

●議長（小林幸雄） 和田副町長。

■副町長（和田勇人） 公共交通の関係ですが、私から答弁をさせていただきますけれども、今、お話しそれぞれの施設への移動の関係でありますけれども、ふれあい広場につきましては、前回お話ししたとおり、富士里地区限定ですけれども、実施可能ということで、組みさせていただきました。また、他の地区からふれあい広場への利用なのですけれども、これについては、運行時間の関係で、今のところ、ちょっと組めない状況であります。ただ、日によって、空き状況があれば、それは可能な状況ですので、その辺は今後また、詰めさせていただきたいと思っています。また、駅の関係でございますけれども、黒姫駅の階段の解消というのは、なかなか難しいのが現状でございます。ただ、古間駅からの利用客という中では、古間地区に限っては、古間駅を利用できますけれども、こちらについても、他の地区から古間駅経由でまた戻るとというのが、なかなかダイヤ的にちょっと、今の段階では難しい状況であります。ですから、これらを合わせて、また台数との関係もありますし、時間割等の関係もありますので、この辺はまた協議会の中でも検討をさせていただく中で、できるだけ利用の方に不便をかけないようにということを、検討させていただきます。ただ、毎年行っているアンケートの中では、実際に利用されている皆さんは、その辺は、あまり意見としては出てきていないというのが現状ですので、今の形態でおおむねよろしいのではないかというような意見もいただいておりますので、その辺も合わせてまた、協議会で検討をさせていただきたいと思ます。

●議長（小林幸雄） 片野議員。

◆2番（片野良之） 今の答弁の中で、アンケートではあまりそういう意見が出てこなかったということが言われておりました。確かに出てないのかもしれませんが。以前の一般

平成 30 年第 415 回信濃町議会定例会 12 月会議会議録(3 日目)

質問の中でも、乗っている方々、回収できる方々以外、使いたくても使えない人たちの声も、なるべく拾ってほしいということは、申し上げたと思いますが、その辺がまだ、活かされていないのかなというふうに感じるところではあります。今、色々と検討していただいているのですが、確かにデマンド、コース的な問題、台数的な問題、時間的な問題、色々あると思います。すぐにできるとは、なかなか思えない部分もあるのですが、であれば、以前私も、一般質問の中でも申し上げているのですけれども、例えばタクシーの福祉チケットの増量など、そういったところ、その後、検討などはしていただいているのでしょうか。

●議長（小林幸雄） 和田副町長。

■副町長（和田勇人） タクシー券につきましては、福祉対策として実施していきまして、昨年度から、件数を多く交付したりしております。ただ、今お話し、公共交通で、すべてを、地区内網羅するというと、非常に経費的なものも大変ですし、ひとつは業者さんも、タクシー営業されておりますので、その辺の、営業されている皆さんへの対応等も、行政としてはしていかなければいけないのではないかとというようなところであります。相対的な中で、利用する皆さんが、便利になるようなかたちは、今後検討させていただきたいと思っております。

●議長（小林幸雄） 片野議員。

◆2番（片野良之） ぜひとも、すべて行政が担わなくてはいけないというふうに思っているわけではありません。デマンドが駄目であれば、この町内で営業されているタクシーをもっと活用する方法ですとか、福祉チケットにしても、観光のチケットの方は、また随分増量したというふうには聞いておりましたけれども、福祉チケットの方、実際持っていて使われない方もいらっしゃるのでは、増やした分が100パーセント、町の財政に掛かってくるとは、思えない部分もありますから、ぜひ、その辺も含めて、なるべく町民の方々が使いやすいような形にもっていっていただくように、今後とも、研究を続けていただきたいと思います。

それから、今申し上げたような公共交通機関の充実、そういうものが少し視点は違うのかもしれないのですが、信濃町へのUターンですとか、Iターン、Jターン、そういったものも含めて移住、定住の促進につながる部分も、安心して暮らせる町ということで、アピールできる部分にもなるんじゃないかという気がしております。その辺も含めまして、対応の方、提案いたします。

また、次に話を進めますが、町長はこの信濃町を、子育てや福祉に優れた町にしていきたいとおっしゃっています。1期目の町政でも、地域住民にとって評価される取り組みをされてきました。2期目の続投が決まり、これから新たな4年間の町政において、これまでの公約をさらに進めて行かれることと思っておりますが、抽象的な言い回しでなく、

平成 30 年第 415 回信濃町議会定例会 12 月会議会議録(3 日目)

具体的に、また明確に、病院の建て替えについて、昨日も、同僚議員の質問とかぶってしまうのですが、どの部分をどう変え、どのようなスケジュールで進めていくのかを、もう一度改めて、お答えください。

●議長（小林幸雄） 横川町長。

■町長（横川正知） 1 期目の中で、子育て支援という観点からも、出生から、そしてまた高校卒業までの間、様々な分野での系統だった施策の展開をさせていただいたわけがございます。今、私はそれはそれとして、先ほど言いました教育、福祉環境の整備というふうに申し上げたのですが、その環境の中では特に保育所も、今のエアコンの関係もあるのですが、その人的体制なのですね。これ、非常に今、厳しい状況になってきていて、人的体制というのはつまり、具体的に言いますと、保育士さん方の確保という問題です。この辺が子供、子育てという観点からしても、しっかりと確保できる、なかなか難しい問題なのですが、しっかりと確保していかないと今、むしろ、この未満児保育の方で、ちょっと影響が出るかなというふうに思っています。このことは、教育委員会とも共有はしておりますが、そのハード的な部分だけじゃなくて、そういった部分もしっかりと視野に入れながら、安心して子育てできる体制というのは、しっかりと対応をしていかなきゃいけないなど。これ、昨日ですか、今日ですか、安曇野方面の新聞報道もありました。なかなか確保が難しい状況になってきているということでもあります。これは、私ども信濃町だけではなくて、今の安曇野地域、あるいは各自治体が、それぞれ今、大きなこれからクローズアップされてくる課題になってくるかなと、私も踏んでおまして、そんな意味では人材の取り合いという言い方、ちょっと失礼な言い方もしれないのですが、自治体同士でも、そういう状況が出てくるといことが、予想されます。そういった意味では、保育士の皆さんの、いわゆる臨時の皆さん方にも、かなりの比重で頑張らせていただいているのですが、そういった待遇改善と言いますか、その辺も含めて、対応をしていきたいと思っています。

●議長（小林幸雄） 片野議員。

◆2 番（片野良之） 保育園の問題、特に保育士の問題など人的な問題、大変だと思いますが、ぜひこれからも町として、取り組んでいただきたいと思っています。今の人手という部分での話で、病院で小児科の先生が辞められるという話を聞いていて、PTAの方でもお母さん方から随分、大丈夫なんだろうという声があったのですが、つい先日、新しい方が決まってもう間もなく着任されるというふうな話も伺っていますので、そういった面では早急な対応をされた、町と言いますか、病院の関係の方々にも感謝を申し上げたいと思います。病院の問題に話がちょっと戻ってしまうのですが、昨日の同僚議員からの質問などで、来年の1月から基本計画ですか、それに着手をして、来年いっぱいぐらいで、その結果を出したいという答弁がされておりました。なかなか今、私たちは、

平成 30 年第 415 回信濃町議会定例会 12 月会議会議録(3 日目)

ここでこういう話を直接聞いているのでいいのですが、町民の方々には、なかなかそういうのが伝わっていないのですね。昨日も同僚議員の方から、もっと情報を、町民の方々に開示した方がいいのではないかという意見が出されていましたが、私もそのように思います。実際、町民の方々からは、本当に建てるのか、やる気があるのかという声もよく聞かれますし、中には町長がなかなかはっきり町民に示さないのは、隣の飯綱町と合同、もしくは、合併でやりたいからじゃないかという、そういう噂までも飛び込んできています。ですが、先日からプロジェクト会議での報告、そういったものを見せていただき、また昨日の答弁などを聞いている中では、そういうことはない、きちんとスケジュールを決めながら、取り組んでいっしょというふうに、私の方も思っておりますが、もう少し町民の方々に、決まってからというのではなく、今こういう状態だというのを含めた情報開示が必要ではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

●議長（小林幸雄） 横川町長。

■町長（横川正知） 昨日も申し上げたのですが、今日若干、信濃毎日新聞にもその辺、記事として載っております。私は、この方向性がまだ、事務局検討の方向性が、まだ定まっていないわけで、プロジェクトチームの結果報告だというふうな捉え方では、今私は、あまりしていない部分なのです。もっと言えば、昨日も申し上げたように、本当にさらに詰めなきやいけない多くの課題があるということでございますので、その辺の課題整理を我々執行する方として、こういう課題に対して、こういう対応をしていきたいという部分をしっかりと確立して、そして町民の皆さん方にも色々なご意見を頂戴しながら、建設に向けての準備を進めていくというのが、筋じゃないかなというふうに思っています。今日の新聞でも、町民の皆さんが混乱するという記事、私もそういうふうに申し上げたのかもしれないのですが、むしろそのことは、私は混乱というよりも、むしろ誤解されるという部分が、ちょっと困るなというところなのです。つまり、情報として1回町が出すと、町はこういうふうにもう考えているんだと、病院の病床数にしてもこうだというふうになってくるわけですね。診療科についても、というふうに、そういうことで町はやるんだと、こういうふうに完全に思いこまれるという部分もあるわけで、ですから私は、その辺をもう少し、行政として、事務的段階で今、精査している段階でありますから、そのことをしっかりと指摘できる方向を出した段階で、情報として出していく。昨日も申し上げましたけれども、そのプロジェクトの結果の報告については、情報として出さないということを言っているわけじゃないです。必要な皆さんについては、どうぞ、請求いただければ、情報として披瀝（ひれき）をさせていただきますということを、申し上げさせていただいているわけです。

●議長（小林幸雄） 片野議員。

◆2番（片野良之） 本当に病院だけではないのですが、ものを継続して作るというところ

ろ、行政の方々、そして町長、判断する立場ですので、本当に責任が伴うので、簡単にはできないことは、十分承知をしております。ただ、誤解されることによるリスクというのもあるので、町長の今答弁されていたことも、十分理解できるのですが、あくまでこれは、ひとつの検討材料だよというところでも、必要な方には出すというのは、これ当然なのですが、他の方々もそういった部分も含めて、きちんと説明をされた方が、町民の方々は誤解と言いますか、間違った思い込みなどをせずに、済むのじゃないかという気がします、その辺も検討をしていただきたいと思います。

もうひとつ、次の問題に進みたいと思いますが、この 12 月会議の初日も、同僚議員から質問が出ていましたが、今回の補正予算に福祉灯油に該当をするものが、見受けられませんでした。昨年度も私たち党議員団として、町長に福祉灯油というような申し入れなどを行いました、実現しませんでした。以前にも何度か、申し入れをしておりますが、ここ最近できておりません。担当課の答弁からすれば、まだ福祉灯油を対応する基準に金額的にも達していないからという話がありました。初日の同僚議員からの質問にも、そのように答えられておりましたが、その基準の金額、そしてそれが決められたのは、いつぐらいかというのをお答えいただければと思います。

●議長（小林幸雄） 松木住民福祉課長。

■住民福祉課長（松木哲也） それでは、福祉灯油に関しまして、所管課であります私の方から対応をいたします。直近では、平成 26 年、25 年度に行ってきたという経過がございます、その際に灯油価格、配達時に 110 円を超えるというような基準を示させていただいたところがございます。最近、灯油の価格についても上昇傾向にあるというようなことがありまして、11 月頃から町内のガソリンスタンドの値段の確認をしているところですが、最高で 108 円のスタンド等もあります、平均すると今月の 3 日現在、104 円程度の金額となっているところがございます。継続して、市場価格の調査を進める中で今後については、対応をしていきたいというふうに思います。

●議長（小林幸雄） 片野議員。

◆2 番（片野良之） 現状で 104 円ほどということ、110 円まで、まだ開きがあるということなのですが、その当時、福祉灯油の対象となるような方々の収入と言いますか、生活に使えるお金に占めるパーセンテージというのは、どのくらいだったのでしょうか。それは、当時と今と比べて、すぐに数字が出る問題ではありませんので、この場でお答えいただくことはないのですが、各種の保険、そういったものが高くなって、年金生活の方々も、実際に手元に残るお金は少なくなっています。その中で、この灯油代、今少しづつ少しづつ、じわじわと上がってきています。当時の 110 円という基準ができた平成 25 年度ですか、その時の生活に占める燃料費というか、暖房費、これを考えて 110 円だから、そういうふうになっているからという、ひとつの目安ではあると思うので

平成 30 年第 415 回信濃町議会定例会 12 月会議会議録(3 日目)

すが、そういったことだけにとらわれなくて、もう少し柔軟に生活に占める金額のパーセント、そういったところを見ていただくということは今後、できないものでしょうか。

●議長（小林幸雄） 横川町長。

■町長（横川正知） 片野さんは、そういうふうにお考えだろうというふうに思うんですね。私も、やっぱり行政を執行する立場として、あえて言えば、臨時的な対応になるわけでありまして。そういう中で私も、前期 1 期目の時に 2 回ほど、そのことをやらせていただいたりもしました。1 回は確か国の財政出動もあったかと思えます。もう 1 回は、町単独でやらせていただいたという経緯がございます。そういう中では、やっぱりひとつの基準というか、基準というと、ちょっと言葉がどういうふうに捉えるかというのも、問題があるのですが、そのくらいになると、ちょっとあれだなということで過去の慣例としてやってきているわけでありまして。やっぱりその慣例というのも大事にしながら進めていくということだろうというふうに思います。私自身はこれ今、国際的な状況の中で、対日本と産油国だけの問題じゃなくて、グローバルな中で今、石油価格の変動があるわけでありまして。こういった変動は、今後もどういうふうな動向で進むのかということとなった時に、どう対応をしていかなきゃいけないかと、行政が対応をすべきなのか、どうなのかということも含めて、考えていく時代に入ってきたのかなというような、ある一方ではそういう思いもあります。その中では、現状の中で、結論から言えば、その慣例というものを、ひとつの踏襲しながら、雪降る前にと言いますか、私、議会前にも、1 箇月以上前から担当課には、そのことは指示はしたのですが、状況をじっくりと、推移を見て行ってほしいということでありましてから、この状況の中で、仮にそういう慣例に達するような価格になってきた時には、また議会の皆さんにお願いをして、対応をしてまいりたいというふうに思っています。

●議長（小林幸雄） 片野議員。

◆2 番（片野良之） 町長の思いを今、十分に聞かせていただきました。ただ、基準という言い方は、ちょっと語弊があるのかもしれないので、目安というふうに申し上げますが、先ほども申し上げたように、目安というのは、やはり必要だと思うのです。ただその目安というのを、その時その時の状況に合わせて、福祉的な部分で考えていただきたいなと思います。これは、これからまた世界情勢を含めて燃料、オイルの方がどういうふうに変っていくか、本当に不透明なところがありますので、簡単にはできないとは思いますが、ここに住んでいる住民の方々が、安心して、安全に過ごしていける、そういった視点で、判断していただきたいと思います。昨年でしたか、テレビや新聞で、生活保護を申請していて、まだそれが受理されてなかった姉妹が、凍死していたという記事がありました。今のこの現代日本で起こった悲しい出来事です。そのような悲しい出来事がこの信濃町では起こってほしくない。本当にこの信濃町は、雪深い、寒い場所です

平成 30 年第 415 回信濃町議会定例会 12 月会議会議録(3 日目)

ので、特にそういったところを福祉の心で見えていただきたいと、今後、この目安になるものが、金額なのか、先ほど私が申し上げたような、生活に対する占めるパーセンテージなのか、そういったところを含めて検討、改善していただくことを提案して、質問を終わることにいたします。

- 議長（小林幸雄） 以上で、片野良之議員の一般質問を終わります。この際、10 時半まで、暫時休憩といたします。

(午前 10 時 19 分)